

414  
A.4336  
1

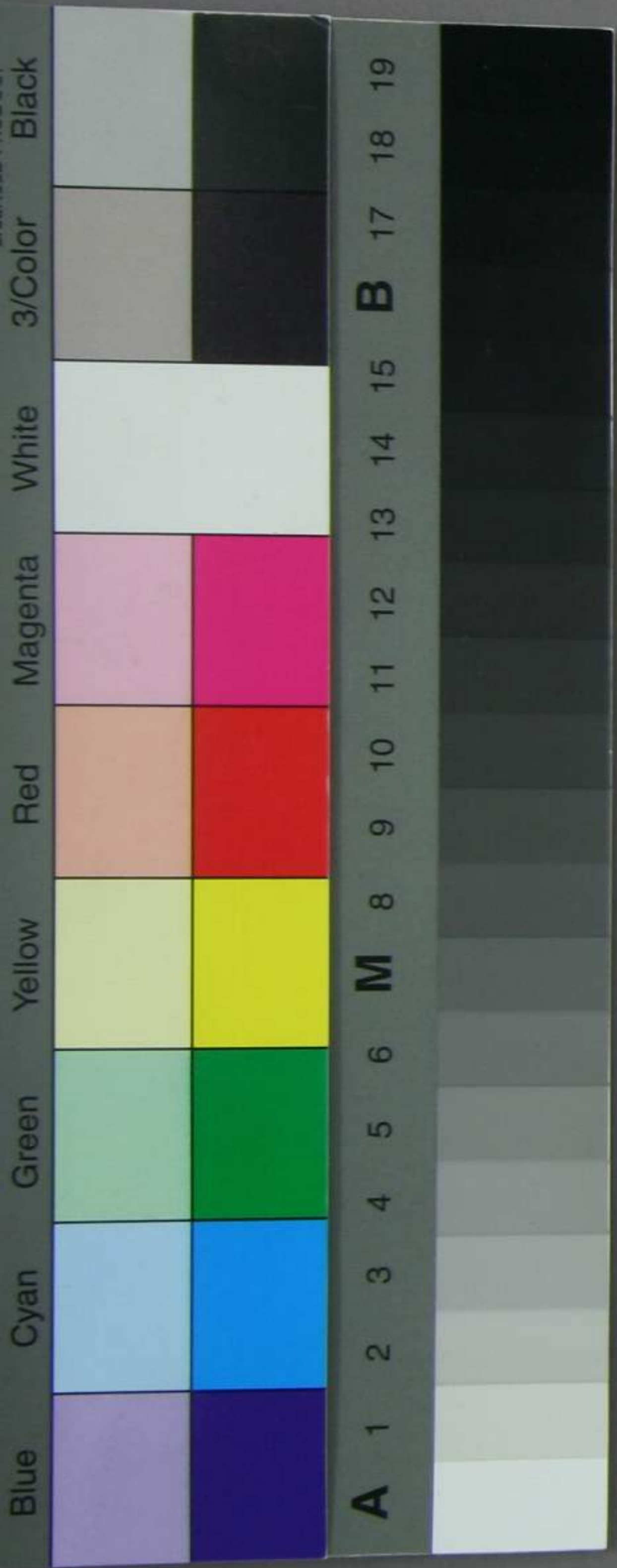


渡之儀上申

東京湾防衛の條に基て建築費用の全額を以

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈

本邦ノ地勢各四面皆海也隨る四面敵ヲ受くる  
唐突に則地勢カノ控ラシムル所ニ有る依り海岸防  
禦ノ儀ハ兵備上一大要務ニ依り維新以來陸海  
軍ノ兵制亦擴張ヲ成現今頗ル改良ニ美ヲ見  
至ルト雖モ沿海岸防衛ニ至ラズ未タモ設ケ  
國土保安上一大綱典ニ此上一〇七箇安ニ付ス  
可ラレテ以テ先般ノ事理後述ノ上國境防衛  
上最要衝ノ部ナラト定シ此ニ基て建設ノ儀及  
上陳列ノ儀亦備ハルニ由ル共ニ費用ノ儀ハ陸  
軍省定額ノ外餘額ニテ支辨可致上〇部括合



有之則必要部部之於キ其後多ヲ考畢之  
起工之順序等詳密而調、未東京海防海防  
之係者實ニ必要中ニ最緊要者ト見海防  
漢海防口之相安視音時、地ヲトシ、砲臺築設  
工ヲ起シ、指合、通陸軍省十二年及之額  
張金ヲ以テ費用支辨政シ、工ヲ了ル、強トシ、  
而シテ起工ノ口、今日ニ至、此費之所、在、額、家、我  
内浮書ニ、自本年六月、迄、此費ヲ、排、多、モ、  
所餘多シ、見、込、者、之、控、安、言、額、金、儀、之、進、  
市減者、如、半、尔、来、通、者、之、費、途、ニ、テ、動、モ、ス、レ、ハ  
不足、ヲ、生、易、キ、京、況、存、況、ニ、テ、海、岸、防、禦、如、キ  
格、以、費、途、ニ、向、テ、支、給、ス、可、キ、所、額、金、之、儀、ヲ、  
族、儀、ニ、テ、来、年、度、以、降、規、ニ、出、費、途、ヲ、絶

候、海、防、ニ、テ、折、角、得、ニ、半、ニ、至、ラ、レ、ト、ス、ル、工、事、手、ヲ、為、ニ  
中、廢、セ、サ、ル、ヲ、以、テ、之、ニ、至、リ、其、等、ニ、於、テ、モ、亦、多、分、上  
強、ト、固、難、ヲ、極、メ、苦、慮、不、少、ト、抑、東、京、海、防、如、キ、ハ  
近、ニ、皇、城、并、政府、所、在、一、大、都、府、ニ、接、シ、遠、ク、ハ  
東、國、法、政、ノ、咽喉、ヲ、占、メ、第、一、要、衝、地、ニ、位、ス、ル、以、テ、  
尤、級、 皇、上、ニ、テ、リ、幸、亦、砲、臺、重、天、池、多、ク、在、  
關、口、如、テ、諸、大、臣、ニ、申、越、説、及、之、ト、通、此、地、風  
海、岸、防、禦、ニ、兵、備、多、之、ニ、於、テ、他、口、不、幸、有、  
事、降、威、下、之、ヲ、防、衛、不、可、術、ナ、ク、國、内、路、接、社  
稷、之、禍、害、實、ニ、測、レ、可、ク、凡、儀、身、該、海、口、砲、臺、  
築、設、シ、義、ハ、時、時、ニ、復、湯、ニ、付、ス、可、ク、儀、ト、存、在、  
間、引、續、起、工、ノ、積、尚、實、地、形、況、ニ、於、キ、又、酒、之、  
此、目、的、ヲ、達、ス、ル、ニ、テ、觀、音、崎、ノ、為、嶺、嶋、一、百、津、外

五ヶ所、然キ河原郡之里ヲ築キ三面ヲ應十字  
 茨火ノ御ヲ得セシムル水ノ柄ヲ觀音崎ニシテ  
 之モ徒勞徒費之モ多ク効益之ヲ要スル所  
 所ノ砲之至ヲ待テ防衛ノ効ヲ願スル者有之  
 六川橋起工ノ續キ費用概算爲五兩、而  
 別我仕海軍ニ直提計金ハ百四拾五兩五子  
 八兩五拾四系ニ有之、徳ノ六工事ニ役ハ凡ソ十ヶ  
 年ヲ要ス可キ見込、一ヶ年概算金ハ拾四兩  
 五子五兩餘系、額ヲ以テ工事施メテ其形ノ後  
 當今國費少ク爲ル、折柄ニハ其ノ形ノ後  
 情等ノ少シ後、上特前ノ海軍ニ其ノ形ノ後  
 十四年毎ニ降十ヶ年毎ノ形ノ後、海軍ニ其ノ形ノ後  
 後後ニ他金ニ出テ其ノ形ノ後、其ノ形ノ後、其ノ形ノ後

實地、後多ヲ研酌ニ砲之築築造費ニ地ノ  
 諸地共進、且申可致、其後書類ニ到此後  
 上陳、案外進出金ニ其ノ形ノ後、其ノ形ノ後、其ノ形ノ後  
 某等、合議進及上申及也

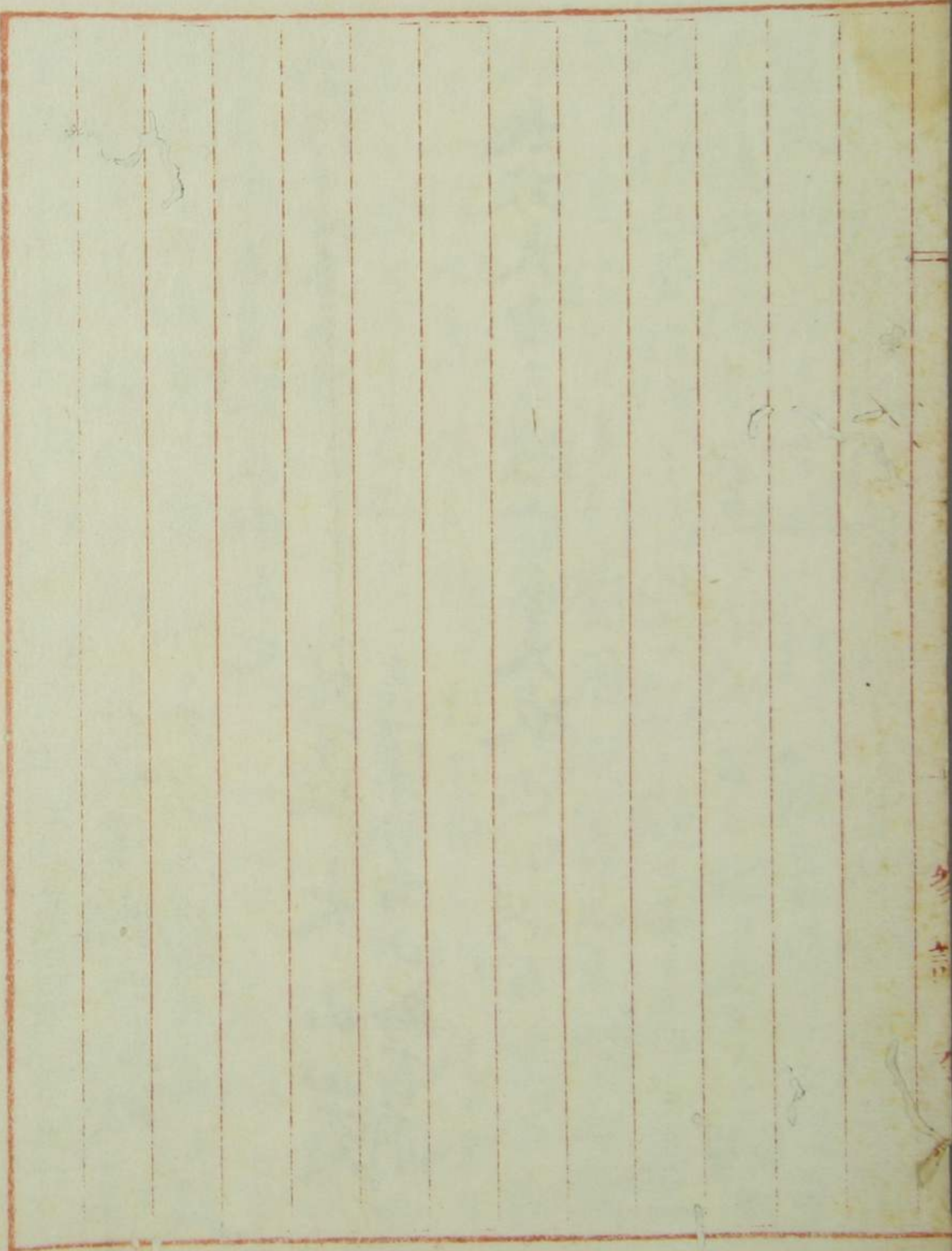
明治十四年五月

陸軍省 大山出表  
 海軍省 山崎有朋

太政大臣三條實美啟

東京灣第一防禦線諸砲臺建築費概算

大正十一年四月  
大隈侯爵邸寄附





東京灣第一防禦線諸砲臺建築費概算

一金九萬。五百七十六圓五拾四錢

右觀音寺砲臺建築費但目今着手建築不足  
費並第三砲臺建築費

一金百六十八萬七千六百五拾八圓五錢貳厘

右富津砂嘴海堡建築費

一金三拾萬。五千六百七拾貳圓九拾壹錢三厘

右猿島砲臺建築費

一金於八萬六千三百五拾三圓六錢貳厘

右勝力波島箱崎島諸砲臺建築費

一金於八萬五千五百六拾貳圓四錢五厘

右富津元洲砲臺建築費

総計金貳百四拾五万九千八百貳拾貳圓八拾貳錢貳厘

右建築工事ヲセシムルトシ惣金額ヲ七ヶ年ニ割付

一ヶ年金三拾五万九千九百三拾圓八拾三錢ヲ定額トナシ

工事ノ都合ニ依テ年々豫算ヲ立テ之ヲ受

取ル事トス

